

ふっさ



市議会だより

No.210 平成30年4月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)

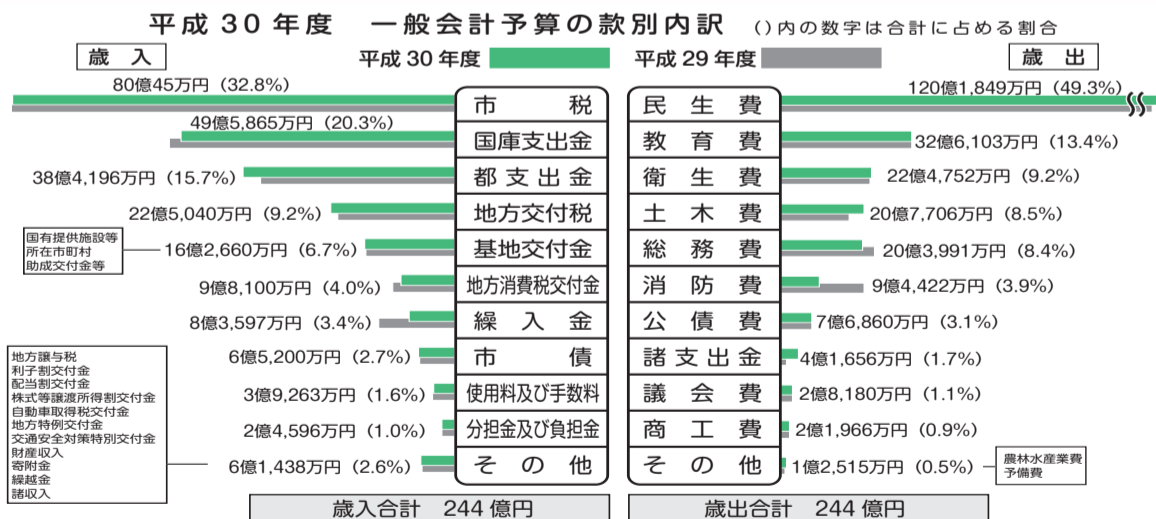


▲第34回ふっさ桜まつり（平成29年）写真コンクール入選作 竹島 和正氏撮影「桜日和」

平成30年
第1回定例会
2月27日～3月27日

平成30年度予算を可決

一般会計及び各特別会計
380億6千769万円



平成30年第1回定例会

平成30年第1回定例会は、2月27日から3月27日まで会期29日間で開催されました。

新年度へ向けて市長から施政方針、教育長から教育方針が述べられた後、16名の議員による一般質問が行われ、条例の制定・一部改正、規約の一部変更、補正予算、各会計予算、教育委員会の人事案件など市長提出議案30件及び陳情3件が審議されました。

日	内容
27日	第1回定例会1日目
28日	第1回定例会2日目
29日	第1回定例会3日目
30日	第1回定例会4日目
31日	第1回定例会5日目
1日	第1回定例会6日目
2日	第1回定例会7日目
3日	第1回定例会8日目
4日	第1回定例会9日目
5日	第1回定例会10日目
6日	第1回定例会11日目
7日	第1回定例会12日目
8日	第1回定例会13日目
9日	第1回定例会14日目
10日	第1回定例会15日目
11日	第1回定例会16日目
12日	第1回定例会17日目
13日	第1回定例会18日目
14日	第1回定例会19日目
15日	第1回定例会20日目
16日	第1回定例会21日目
17日	第1回定例会22日目
18日	第1回定例会23日目
19日	第1回定例会24日目
20日	第1回定例会25日目
21日	第1回定例会26日目
22日	第1回定例会27日目
23日	第1回定例会28日目
24日	第1回定例会29日目
25日	第1回定例会30日目
26日	第1回定例会31日目
27日	第1回定例会32日目

◆会議の開催状況と審議日程◆

会期29日間

● 主な内容 ●

- ◆一般質問（要旨）…… 2～4面
- ◆予算審査から…… 5面
- ◆可決された案件…… 6面
- ◆議案の審議結果…… 7面
- ◆委員会の審査…… 7～8面
- ◆特別委員会活動…… 8面

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は5月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、これまで掲載されていた一般質問通告一覧については、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

横田基地における航空機の整備・運用等について

正和会
清水 義明 議員



質問 部品落下や墜落等、各地で自衛隊や米軍機事故やトラブルが多発し、基地を抱えるまちとして看過できない。本市の考えと対応を伺う。
市長 横田基地の航空機運用に関しては市議会の協力も得て、様々な機会でも国や米軍に要請を行っている。2月の米軍機緊急着陸や3月の自衛

隊ヘリコプター墜落の際は直後に防衛省を訪問、情報収集と安全対策の徹底を訴えた。今後も都や5市1町でも連携し粘り強く取り組む。

[就学前教育と小学校教育との円滑な接続について](#)

質問 保育園児・幼稚園児への就

学前教育は効果が高く、小学校教育へ円滑に接続できると普及が加速しているようだ。本市の考えを伺う。

教育長 かねてより幼保、小・中学校の連携強化に取り組んでいる。他地区の先進事例も参考にして、早期連携・早期支援に向けた体制整備を視野に入れ、事業展開を図りたい。



▲航空機C130-Jの横田基地内でのメンテナンスの様子（横田基地HPより）

富士見通り線整備事業の進捗状況について

正和会
町田 成司 議員



質問 用地取得において、転貸、いわゆる「又貸し」をしている物件にはどのように対処しているのか。
都市建設部長 補償費を算定するための物件調査の際、関係書類等で貸借状況を調査。家主は当然権利者だが、転貸人も補償費を受ける対象物があれば補償対象者となり、経営

者もその方が主たる経営者であれば、営業補償などを受ける権利を有していることになる。

[金婚式を迎えた方々への表彰状の授与について](#)

質問 敬老大会は福生市のまちを支え、貢献されてきた方々の長寿を

祝うのが目的であるから、この中で金婚式を迎えられたご夫婦に表彰状を授与されてはどうか。

市長 婚姻事実の確認方法などに課題はあるが、夫婦で長寿を迎えたことへの表彰は高齢者の方々の励みとなり、健康寿命の延伸につながる。実施に向け準備を進めたい。



▲店舗が並ぶ富士見通りの様子

通称赤道（あかみち）について

正和会
乙津 豊彦 議員



質問 市内の里道、通称赤道や、道路として使用されている民地に対する市の対応について伺う。
市長 赤道は道路の機能や実態を失っている場合、関係者の同意を得て廃道手続をとり、隣接する土地所有者へ売却。敷地民有地は地籍調査等で境界が明らかになった際に協議

し、寄附、買収、使用貸借契約のいずれかを行うが、実情はなかなか協議がまとまらず、解決は難しい。

[学力向上策について](#)

質問 平成28年3月に市立学校の学力向上策が策定されたが、その目指すところと、2年を経過しての進

捗状況を伺う。

教育長 本市の全教員が学力向上施策等を理解し、授業改善に活用するのがねらい。平成29年6月に策定した第2次学力向上策に基づき取り組みを推進。子どもの姿から年々、授業改善が進んでいると実感している。



◀地籍調査の広報用リーフレット（東京都都市整備局）

未来を拓く ふっさっ子学習発表会について

市民派クラブ
田村 正秋 議員



質問 1月27日に開催された発表会で、これまでの成果や課題を踏まえ重視した事項は何か。
教育長 29年度は「子どもたちの主体性」をキーワードに、学校と教育委員会が協働で取り組み、学級でいじめ防止のアイデアを出し合うなどした。今後も主体性を一層重視し、

本市全体で学び合う場としたい。

[福生市防災食育センターの運用状況について](#)

質問 昨年9月のオープンから現在までの状況について、防災と学校給食の両面から伺う。

教育長 防災面では2階のホール

で防災用品や非常食を展示し防災意識の向上を図っているほか、地区の防災訓練等でのおにぎりの提供や展示を行った。学校給食では通常給食と食物アレルギー対応給食の工程の完全分離や、国の基準にのっとった衛生管理により、安全で安心な学校給食の提供を順調に行っている。



▲ふっさっ子学習発表会の様子（平成30年1月27日 福生市民会館にて）

民間活力導入を決定するまでのプロセスについて

正和会
武藤 政義 議員



質問 民間活力の導入には様々な形態があるが、どのように検討し、導入形態を決めるのか。
市長 指定管理者制度や業務委託、PPPやPFI等多様な手法があることから、庁内の行政改革推進本部会議等で費用対効果や手法間の比較などを多角的に検討、市民サービス

向上やコスト削減につながるかを慎重に審議の上、決定している。

[学校運営協議会、準備委員会の設置について](#)

質問 コミュニティ・スクールの学校運営協議会や準備委員会の人選はどのような視点で行っているのか。

教育長 ①指定学校所在地域の住民、②在籍児童・生徒の保護者、③指定学校の校長・副校長及び職員、④学識経験者、⑤その他教育委員会が適当と認める者のうち、教育委員会が委嘱または任命するとしており、特に当該校の校長は必ず委員となることとしている。



▲指定管理者制度により運営している福生市民会館（大ホール）

雪害対策について

質問 近年、全国的に記録的な降雪による被害が多く見られる。雪国では住民も心得ているが、本市を含む関東から南西の地域では、様々な部分でまだまだ意識が低いと感じる。降雪時の諸課題をどう捉えているか。

市長 本市では、平成26年の大雪を教訓に大雪対応マニュアルを作成

し、雪害対策に努めている。大雪時の除雪作業については課題もあるが、引き続き市民にも自宅等周辺の除雪等で助力をお願いしたい。今後も市民や建設防災協力会、関係機関と連携して雪害対策に努めたい。

質問 雪害対策として、事前対策を啓発することについて所見を伺う。

また、大雪対応マニュアルの内容を周知する必要性について考えを伺う。

総務部長 雪に対する事前の備え等の周知は必要だ。大雪対応マニュアルでも自助・共助の部分を書き記した。安全・安心まちづくりだより「あんまち」やホームページ等の活用のほか、出前講座等で啓発したい。

公明党
青木 健 議員



▲市内の積雪の様子（平成30年1月22日撮影）

新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」について

質問 スタートして約1年が経過した総合事業の基本的な考え方と状況、見えてきた課題等について伺う。

市長 総合事業は、地域の実情に応じ多様な主体が参画し、多様なサービスの充実で地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等の介護予防と日常生活の効果的・効率的支

援を目指すもの。今年1月現在の利用者は、国基準の訪問型サービス6人、通所型サービス104人。また本市の独自基準訪問型サービスは73人となっている。サービスへの多様な担い手の参加を促し、支え合い体制づくりを推進することが重要である。

本市におけるいじめの状況について

質問 本市のいじめについてはどのような状況であるのか伺う。

教育長 各事案で学校が保護者と連携し指導しており、いずれも解消または解消に向かっている。いじめ防止のための取り組みを今後も丁寧かつ確実に推進していく。

正和会
佐藤 弘治 議員



新公会計制度実施に伴う使用料、手数料等改定の検討状況について

質問 新公会計制度導入に際して、コスト計算を重視し、使用料・手数料の見直しを行うと説明があった。現在の検討状況とその方向性は。

市長 新公会計制度導入で、減価償却費や引当金等を含めたフルコストが各施設や事業ごとに算出可能になった。使用料・手数料等の適正化

を図るべく、使用料・手数料等受益者負担適正化方針の原案を作成した。使用料・手数料等の見直しを実施または新たに設定する場合、負担の公平性と料金設定の合理性を図るため、原価を基とした料金計算を行い、定期的に見直す。改定の必要があれば平成31年度予算に反映させたい。

待機児童対策について

質問 待機児童対策の現状と今後の対策について伺う。

市長 既存施設を拡充して対応中。保育所の余裕空間の活用や市外認証保育所の保育料補助の充実等で受け皿を増やし、待機児童をゼロとした。

正和会
大野 聡 議員



◀「福生市の財務諸表」(冊子)

町会・自治会の加入率維持、向上へ向けた今後の対策について

質問 現在、町会・自治会のご尽力だけでは加入率低下を押し止めることに限界があり、今こそ市としても全庁的な取り組みを行わなければならない時だと思うが、所見を伺う。

市長 加入率を取り巻く環境は非常に厳しく何らかの方策を講じる必要性は認識している。今後、町会長

協議会から市へ要望等が出されるようなので、踏まえた上、検討したい。

質問 まずは、高齢化している現会員の定着を図るため、組長・隣組長の負担軽減策が必要で、市で集める募金総額の9割前後を担っている年4回の集金業務がある募金等の見直しが必要だと思うが、市の所見を

伺う。また、回覧配布やポスター掲示依頼の改善状況について伺う。

生活環境部長 募金等の集金の負担軽減については、今後、担当部署と調整していきたい。また、回覧配布やポスター掲示依頼については、協働推進課が依頼事項を精査し、負担軽減に努めている。

正和会
末次 和夫 議員



▲町会長協議会総会の様子

中学校給食の実施までの経緯等について

質問 市長の英断で、平成29年9月の新学校給食センター運営開始に伴い、中学校の完全給食が実施された。実施に至る経緯等について伺う。

教育長 昭和50年に中学校完全給食の請願書が出され、その後中学校給食審議会等の協議を経て、平成8年にはデリバリーランチを実施した

が14年に廃止。16年からミルク給食に加えランチルーム方式を実施した。25年には災害時対応施設整備のめどが立ち、中学校完全給食実施を26年2月に決定。29年9月に開始した。

大雪に対する市の対応について

質問 本市では、大雪対策マニ

ュアルを作成し対応しているが、今年1月22日の大雪の際の対応を伺う。

市長 担当職員が終日警戒態勢をとり、情報収集に努めるとともに、翌23日深夜3時から、建設防災協力会の協力も得て除雪作業を開始した。今後も全力で大雪対策に努める。引き続き理解と協力をお願いしたい。

正和会
田村 昌巳 議員



▲学校給食用配送車（福生市防災食育センターにて）

若者の声を市政に活かすことについて

質問 まちづくりを進める上で、若者の声を聴き、活かすことが重要だ。第5期総合計画策定へ準備が始まり、市民へのアンケート調査を実施したと聞かすが、そのような視点があったのか。また、若者の声を市政に活かすことについて所見を伺う。

市長 第5期総合計画策定に向け、

18歳以上の市民3千人を対象に意識調査を実施した。これからのまちづくりに若い力は当然必要であり、若者の意識や感覚を計画に反映させることも考えていく。今年2月には、若手職員を対象に参加者同士気軽に自由に対話できるワールドカフェを開催した。30年度は18歳以上の市民

を対象に開催予定で、意見を総合計画に反映させる。

若者議会等の設置について

質問 まちづくりに若者の声を活かす取り組みとして有効だが所見は。

市長 若者の意見は大変重要だが、現時点では設置は考えていない。

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲市職員によるワールドカフェの様子

保育士家賃補助制度の導入について

日本共産党
池田 公三 議員



質問 共働き家庭子育てしやすい街ランキングで今年3位となった。1位豊島区との差は3ポイントで同区は保育職員宿舍借上支援を導入済み。本市も導入し、さらに子育てしやすい街を目指すべきでは。

市長 本市でも、保育人材確保に対応してほしいとの意見が事業者よ

り寄せられている。平成30年度から国及び都の制度を活用し、事業者が宿舍を借り上げ、保育士を採用して入居させた場合、経費を一部補助する制度を導入し本市内保育園への支援充実を図る。今定例会に予算を上程し、実施期間は32年度までを予定。

生活保護費（生活扶助費）5%削減による就学援助受給家庭への影響について

質問 生活保護基準の引き下げの影響を子どもに及ぼさないよう、就学援助支給基準の引き上げを。

教育長 基準変更の考えはない。従前から保護者負担の軽減を図っており、総体的に支給している。



女性視点の防災ブック「東京くらし防災」について

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 女性視点で発見した防災上の課題を解決する冊子であり、より多くの市民に届いてほしいが、配置先や周知方法等の対応を伺う。

市長 3月1日から都内市区町村のほか、民間事業者等の店舗事業所など約9千箇所無料で配布し、本市内でも9箇所配布中。都はホーム

ページ等で配布場所等を掲載し、防災コールセンターでも問い合わせに対応する。本市も、市内の配布場所等をホームページで広報している。

教員の働き方改革について

質問 国や都は教員が専門性の高い学習指導に専念できるよう、予算

計上してきた。これらの財源を用いた教員の働き方改革の推進は本市にとっても大変重要だが、所見を伺う。

教育長 より質の高い教育の確保及び学校に対する一層の信頼の確立という視点で考えることが必須だ。都の動向に遅滞なく、本市の実態に即した働き方改革プランを策定する。



◀「東京くらし防災」
(東京都総務局・冊子)

災害時の医療情報の収集・伝達について

公明党
堀 雄一郎 議員



質問 災害医療コーディネーターが災害時の医療連携の要となり、市は医療救護所の設置状況や医療機関の活動状況を市民へ周知を行うことになっている。医療情報収集・伝達は、重要課題と考えるので所見を伺う。

市長 災害時の医療情報の収集・伝達については、発災直後、本市と

災害拠点病院で都からの情報収集に努めるとともに、災害医療コーディネーターと連携し、医療機関等の被災状況や活動状況等の情報を共有する。市民への医療機関活動状況等の情報伝達は、防災行政無線や市ホームページ、情報メール等で発信する。

平和を育む事業の推進について

質問 本市独自の取り組みを進めているが、確認の意味で所見を伺う。

市長 平和のつどいや戦争資料展等、様々な平和事業に取り組んでいる。戦争を知らない世代に戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐことを、今後も大切にしていきたい。



◀災害時の医療救護活動に使用する
トリアージ・タッグ

市内へのバリアフリーへの取り組みについて

日本共産党
奥富 喜一 議員



質問 JR東福生駅のエレベーターの設置について、福生市立地適正化計画素案では抽象的な表現はあるものの、東福生駅に関する具体的構想が感じられないが、所見を伺う。

都市建設部長 東福生駅周辺を中心とする拠点を都市機能誘導区域とし、日常生活の利便性の維持向上を

図る観点から商業・金融機能の維持誘導を行い、その機能を十分に発揮するため、駅のバリアフリー化や踏切の安全対策を行いたい。実現に向け関係機関と協議を進める。

パラシュート人員降下・物資投下訓練について

質問 市民の安全・安心を守る立場から、横田基地での訓練規模を平成23年以前のような小規模なものに戻すよう要請する考えはないか。

企画財政部長 規模について要請を行う予定はないが、基地運用の大前提である安全対策の徹底について、今後も引き続き粘り強く求めていく。



▲JR東福生駅の様子

生産緑地と都市農業振興について

公明党
原田 剛 議員



質問 生産緑地指定後30年を経過する平成34年以降、生産緑地の税優遇も期限を迎え、農地が急減して一斉に宅地転用される可能性もある。生産緑地の保全、都市農業振興について市の考えを伺う。

市長 本市として、福生市農業振興計画に定めた重点施策を推進する

とともに、生産緑地の保全や追加指定など積極的なPRを行う。

乳幼児期のスターティング・ストロングについて

質問 子育て世代包括支援センターが4月スタートする中で、全ての子どもに質の高い早期乳幼児教育・

保育の機会を与えるスターティング・ストロング（人生の始まりこそ力強く）の考え方について所見を伺う。

市長 子育て世代包括支援センター事業にスターティング・ストロングという考え方をどのように生かせるかについては、事業を進める中で実施状況に応じて対応したい。



▲市内の生産緑地の様子

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用くださいインターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信方法 本会議のライブ映像と録画映像より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆利用方法
福生市ホームページ (<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)
→「福生市議会」よりアクセス

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

平成30年度予算の概要

一般会計予算を4日間集中審査

新公会計制度に基づき、事業の内容や財源を盛り込んだ実施計画書等により、平成30年度一般会計予算を審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算244億円を、予算審査特別委員会で4日間にわたり慎重に審査しました。

また、特別会計予算136億6769万円が提出され、建設環境委員会及び市民厚生委員会でも慎重に審査し、通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

予算の特徴点について

問 平成30年度予算の特徴や例年と異なる点は。

答 前年度比4億1千万円、1・7%の減となるが、28年度、29年度に次ぐ予算規模。新公会計制度のPDCAサイクルが初めて1周する予算であり、費用対効果を勘案し、財源を重点的、効果的に配分した。新規事業は11件で、改善事業は33件。定住化対策の施策は109事業を計画。福祉センター設備改良や富士見通り整備事業等を行うほか、児童福祉費等を増額する。

総合計画策定事務について

問 策定支援委託料が計

答 2つのシステムの概要と、導入の効果を伺う。被災者生活再建支援システムは、災害時のり

災害対策関連システムについて

上されているが、どのような委託内容なのか。
答 平成29年度は市民意識調査を行った。30年度では基礎調査として社会情勢等の整理分析や財政分析、総合計画の上位に当たる基本構想の検討、総合計画の構成、骨子案、重点的な取り組み事項の検討、総合計画の管理に関する研修や提案、各種会議の開催などを行う。また、市民参画等のための支援も委託内容に含まれている。

農業振興事業について

問 改善項目の2事業について、詳細を伺う。

答 都市農地保全支援プロジェクトは農地保全のための補助金で、防災機能の強化や、地域や環境に配慮した基盤整備を対象とするもの。防災兼用

証明書等コンビニ交付について

問 コンビニ交付の発行枚数増加でコストは下がるのか。どのようなメリットがあるのか。

答 発行枚数が増えるとコストは下がるが、コンビニに支払う手数料が増加するので、その兼ね合いもある。現状、1件当たり費用は窓口発行より高いが、初期構築経費がなくなる次期更新以降は下がると考える。市民の利便性向上が最大の目的で、普及すれば来庁者が減り、窓口の待ち時間が減少する効果も期待する。

子育て世代包括支援センター事業について

問 新規事業であり、概要と実施計画を伺う。産後ケアと療育は含むのか。

答 妊娠期から子育て期にわたり保健・医療・福祉、教育関係機関と連携し、一人一人の状況に応じた切れ目ない支援を行う。また、保健師等専門職による保育園や幼稚園の巡回支援も行う。産後ケアは母子デイケアやショートステイの必要性の検証結果を踏まえて、取り組み方を検討する。療育は専門病院や機関につなげる支援が考えられる。

保育所運営事業の特徴点について

問 平成30年度に実施する特徴的取り組みがあれ

答 30年度の特徴的な取り組みとしては、杉ノ子第二保育園建設補助金、保育所等ICT化推進事業補助金、保育士宿舍借上支援事業補助金、病児・病後児保育における病児ケア対応力向上支援事業の実施などがある。

子育て支援住宅整備助成事業について

問 都の子育て支援住宅認定制度では住戸専有面積50㎡以上が条件だが、本市では60㎡以上となった経緯を伺う。

答 住宅建替促進事業の見直しに合わせ、面積要件を緩和したが、子育て世帯向けの良質な共同住宅の供給を誘導する観点から、都が設定した面積要件より広い60㎡以上とした。

新入学児童学用品扶助費について

問 前倒し支給の具体的な流れについて、現段階での検討の様子を伺う。

答 小学校入学予定の児童の保護者には、平成30年10月発送予定の就学時健康診断通知書に申請書を同封。11月実施予定の就学時健康診断で回収して認定審査を行い、31年2月中旬に認定・非認定を通知し3月中旬支給を想定。中学校入学予定の小学校6年生の児童の保

公民館の保育室併設講座について

問 公民館で行っている保育室併設講座は、大変評判がいいと聞いているが、その概要、目的について伺いたい。

答 講座のテーマは各コースによるが、保育室学習会を講座に組み込み、子育てや日常生活での悩

みや課題について話し合いを行っている。その目的は、母親が子どもを保育室に預け、子どもと離れて講座での学習を深める中で、母親の置かれている閉塞感から解き放たれ、仲間の中で支え合う関係づくりにつなげていくことである。また、保育室は単なる子どもの一時預かりではなく、集団保育の中で自立、人権、社会性の獲得を目指していくという視点から保育を行っている。

討論

●平成30年度福生市一般会計予算に対する討論

■反対

国民健康保険税が値上げされ、子育て支援策である学校給食費の無償化や就学援助支給基準の引き上げなどがされず期待外れであること、また、市内業者の受注拡大等の取り組み、学校給食費の公会計化、横田基地の撤去を求め安全安心な福生市を目指す立場の明確化、財政の積極的な運用などがなされておらず、本予算に反対する。

■賛成

本予算は、PDCAサイクルが一周した初めての予算となり、その総額は過去3番目に高いものとなっている。歳出面では、新扶桑会

館の建設、福祉センター設備の改良、子育て世代包括支援センターの設置、ALIT教育の拡充などが盛り込まれ、歳入面では、補助金等の確保など財源確保に努力しており、大いに評価することから、本予算に賛成する。

また、子育て世代の定住化施策、子育て世代包括支援センターの開設、小学校LAN整備、就学援助費による保護者負担軽減などが盛り込まれており、本予算に賛成する。



▲平成30年度 一般会計予算を起立多数で可決

平成30年度 各会計別予算規模 (人口30.1.1現在 58,384人)

会計区分	30年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	244億円	△1.7	41万7,923円
特別会計			
国民健康保険特別会計	68億8,405万7千円	△14.1	11万7,910円
介護保険特別会計	41億9,538万円	3.6	7万1,858円
後期高齢者医療特別会計	11億8,201万6千円	4.7	2万246円
下水道事業会計	14億623万7千円	△15.2	2万4,086円
総合計	380億6,769万円	△4.0	65万2,023円

可決された案件(要目)

◎全員賛成 △賛成多数

◎福生市行政改革推進委員
会条例の一部を改正する条例
平成30年度の組織改正に伴い、行政改革推進事務については企画財政部に新たに設置する行政管理課が担うこととなり、条例を改正するもの。

◎福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
職員の特別休暇に短期の介護休暇を加えるもの。

◎福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
基本構想審議会委員、生活困窮者就労支援員、保健師嘱託員、副校長補佐嘱託員及び学校経営補佐嘱託員を新たに加えるとともに、心理相談員に係る規定を整理するもの。

◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
短時間勤務職員に支給する期末手当及び勤勉手当に関する規定を整備するとともに、再任用職員に支給する給料の額を改定するもの。

◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正するもの。

◎福生市指定介護予防防支
援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防防支援等に係る介護予防防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正するもの。

◎福生市指定地域密着型
介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定めるもの。

◎福生市総合計画条例
平成32年度からの第5

防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準が一部改正されたことから、条例の一部を改正するもの。
◎福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、国民健康保険法の適用を受ける者に係る、いわゆる住所特例に関する規定を整備するもの。

◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例
平成30年度から32年度までの各年度における保険料率の額を定めるほか、特別控除額及び刑事施設等に拘禁された者に係る保険料の減免に関する規定を整備するもの。

◎福生市指定地域密着型
サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例の一部を改正するもの。
指定地域密着型サービス事業は、本市の条例で定める基準に基づいて運用しているが、条例の基準となる厚生労働省令の改正が行われたことから、条例の一部を改正するもの。

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例
国民健康保険法の一部改正に伴い、市町村の国民健康保険事業の運営に関する協議会等に関する規定を整備するもの。

◎福生市国民健康保険税
条例の一部を改正する条例
平成30年度から始まる国民健康保険制度改革を受け、国民健康保険税の税率等を改定するとともに、地方税法の改正に伴う規定を整備するもの。

◎福生市都市公園条例の一部を改正する条例
都市公園法施行令の一部改正に伴い、公園に設ける運動施設の敷地面積の基準に関する規定を整備するもの。

◎福生市営住宅条例の一部を改正する条例
公営住宅法の一部改正に伴い、市営住宅入居者のうち認知症患者等の収入申告義務緩和に関する規定を整備するとともに、市営住宅の取り壊しに伴い戸数を変更するもの。

◎福生市総合計画条例
平成32年度からの第5

期福生市総合計画を策定するに当たり、策定根拠として地方自治法の規定に基づき本条例を制定するもの。
◎福生市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
平成30年度から指定居宅介護支援等事業者の指定権限が都から市区町村に移譲されることから、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定めるもの。

◎福生市生産緑地地区に
定めることができる区域の規模に関する条例
生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例について、必要な事項を定めるもの。

◎東京都後期高齢者医療
広域連合規約の一部を変更する規約について
後期高齢者医療の保険料は、平成28・29年度の限定的保険料軽減措置として一部を関係区市町村が負担してきたが、2年ごとの保険料の見直しに際し、平成30・31年度も同様の保険料軽減措置を実施し、それに係る経費を関係区市町村が負担することとするため、規約の一部を変更するもの。

◎平成29年度福生市一般
会計補正予算(第6号)
総額を26億6013万7千円とするもの。

◎平成29年度福生市後期
高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
総額を11億4070万2千円とするもの。

◎平成30年度福生市一般
会計予算
「このまちが好き 夢かなうまち 福生」の実現を目指し、総額を244億円とするもの。

◎平成30年度福生市国民
健康保険特別会計予算
総額を68億8405万7千円とするもの。

◎平成30年度福生市介護
保険特別会計予算
総額を41億9538万円とするもの。

◎平成30年度福生市後期
高齢者医療特別会計予算
総額を11億8201万6千円とするもの。

◎平成30年度福生市下水
道事業会計予算
総額を14億623万7千円とするもの。

◎新扶桑会館整備工事
(建築) 請負契約の変更について
工事内容の変更に伴い、契約の金額及び工期を変更するもの。

◎市道路線の廃止について
市道第1182号線を廃止し、隣接地権者に売却するもの。

◎福生市教育長の任命に
ついて
任期満了に伴い、引き続き、川越孝洋氏を教育長として再任することに同意するもの。

討論

一般会計予算以外の議案で、次の議案に対し反対討論・賛成討論がありました。
●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例
●平成30年度福生市国民健康保険特別会計予算
(5面に一般会計予算の討論の概要を掲載しています。)

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。
◆不採択
○北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書(29-5号)
(不採択理由)
弾道ミサイルを発射させないよう外交努力を重ねており、避難訓練については、かえって市民に不安をおおいかねないので、意に沿い難い。
◆不採択
○「日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書」提出を求める陳情書(29-6号)
(不採択理由)
核保有国と非保有国との協力のもと核軍縮について段階的に進めるべきであると考え、現段階ではその溝は埋まっておらず、意に沿い難い。
◆不採択
○福生市営住宅条例第6条の「入居者の資格」についての審査が、同第2条の「賃貸」契約の準備行為であるか否かについて、明らかにするための必要な措置を求める陳情書(30-1号)
(不採択理由)
本陳情については、議会側で判断するような内容ではなく、意に沿い難い。

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成30年第2回定例会は、6月5日(火)から22日(金)までを予定しています。

- ◆本会議(予定) 午前10時開会
6月5日(火)～8日(金)及び22日(金)
- ◆常任委員会(予定)
午前10時開会
6月12日(火)～14日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリングループを導入しています。

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

市民派：市民派クラブ ネット：生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	市民派	ネット	議決結果
市長提出議案							
議案第1号	福生市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	福生市児童育成手当条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	福生市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	福生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	福生市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
議案第15号	福生市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	福生市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	福生市総合計画条例	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	福生市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	福生市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	平成29年度福生市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	平成29年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	平成30年度福生市一般会計予算	○	○	×	○	○	可決
議案第24号	平成30年度福生市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	可決
議案第25号	平成30年度福生市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	平成30年度福生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	平成30年度福生市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	新扶桑会館整備工事(建築)請負契約の変更について	○	○	○	○	○	同意
議案第29号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	福生市教育長の任命について	○	○	○	○	○	同意

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

3月13日に委員会が開かれ、6件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、1件の陳情が不採択となりました。

◇福生市都市公園条例の一部を改正する条例

問 対象となる都市公園はどのくらいあるのか。

答 市内すべての都市公園が対象となる。

◇福生市営住宅条例の一部を改正する条例

問 収入申告義務に関する改正の内容について伺う。

答 認知症等のケースについては、その実態を把握するよう努め、その上で収入等を調査し、本来の家賃を算出する。

◇福生市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例

問 今回の緩和の影響で、今後生産緑地になる可能性がある農地というのはどのくらいあるのか。

答 22筆、8618㎡である。

◇平成30年度福生市下水道事業会計予算

問 基地水の減の理由と、今後の見直しについては。

答 基地内での下水道施設

の再整備に伴い、老朽化した汚水管への雨水流入防止工事などを行ったことにより減となった。この減少傾向が続くものと考えている。

◇市道路線の廃止について

問 今回のような市道は廃道にして売却したいと考えているのか。

答 売却を基本にしていきたいと考えている。

◇福生市児童育成手当条例等の一部を改正する条例

問 これまでの控除対象配偶者と同じ範囲を示す同一生計配偶者という用語に置き換える目的は。

答 配偶者控除の適用を受けることがなくなった超える方が、所得制限で手当が不支給となるケースが出ないようにする。

◇福生市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

問 条例の指定特定相談支援事業者とは何を指しているのか、指定介護予防支援事業者の担当職員の氏名及び連絡先を当該病院または診療所に伝えるということは、医療の連携を取りやすくするためか、担当者を招集して行う会議はどのような会議か。

答 指定特定相談支援事業者は、障害福祉のサー

ビスを利用する上での計画を作成する事業所で市内に6事業所ある。利用者に対して、サービス担当者等の情報を医療機関等に提供することを求めるものとした理由は、入院時における医療機関等との連携を促進する目的からである。担当者を招集して行う会議は、介護保険のサービスを利用するためのケアプランを作成する際に開催し、情報共有のようなサービ

スを利用していくかを決める会議となっている。

◇福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の対象者数は。

答 国保加入者のうち都外施設等の入所者住所の特例としている方は7名、平成30年度に75歳到達となる方は2名。

◇福生市介護保険条例の一部を改正する条例

問 介護保険料の算出方法と準備基金の取り崩し状況、第7期の介護保険料5903円の他市との比較、低所得者への配慮は。

答 保険料は、今後の要介護認定者の増によるサービス利用量の増加、平成30年度からの改定介護報酬等への対応などを見込んで算出した。準備基金として平成30年度は5千万円を繰り入れる。26市平均額は5600円程度となっている。低所得



▲市道路線の廃止箇所を現地視察

市民厚生委員会

3月14日に委員会が開かれ、開会后、福生杉ノ子保育園、子育て世代包括支援センターの開設が予定されている保健センターの視察を行いました。その後、15件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇福生市児童育成手当条例等の一部を改正する条例



▲現地視察を行った福生杉ノ子保育園

例 問 これまでの控除対象配偶者と同じ範囲を示す同一生計配偶者という用語に置き換える目的は。

答 配偶者控除の適用を受けることがなくなった超える方が、所得制限で手当が不支給となるケースが出ないようにする。

◇福生市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

問 条例の指定特定相談支援事業者とは何を指しているのか、指定介護予防支援事業者の担当職員の氏名及び連絡先を当該病院または診療所に伝えるということは、医療の連携を取りやすくするためか、担当者を招集して行う会議はどのような会議か。

答 指定特定相談支援事業者は、障害福祉のサー

ビスを利用する上での計画を作成する事業所で市内に6事業所ある。利用者に対して、サービス担当者等の情報を医療機関等に提供することを求めるものとした理由は、入院時における医療機関等との連携を促進する目的からである。担当者を招集して行う会議は、介護保険のサービスを利用するためのケアプランを作成する際に開催し、情報共有のようなサービ

スを利用していくかを決める会議となっている。

◇福生市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の対象者数は。

答 国保加入者のうち都外施設等の入所者住所の特例としている方は7名、平成30年度に75歳到達となる方は2名。

◇福生市介護保険条例の一部を改正する条例

問 介護保険料の算出方法と準備基金の取り崩し状況、第7期の介護保険料5903円の他市との比較、低所得者への配慮は。

答 保険料は、今後の要介護認定者の増によるサービス利用量の増加、平成30年度からの改定介護報酬等への対応などを見込んで算出した。準備基金として平成30年度は5千万円を繰り入れる。26市平均額は5600円程度となっている。低所得

者への配慮は、所得段階第1段階の方に対しては、引き続き公費導入による保険料軽減を実施し配慮を行う。

◇福生市国民健康保険税

条例の一部を改正する条例 税率改定の考え方は、

国保制度改革が行われ、国保会計における赤字を解消していく方針が示され、都より示された標準保険税率等に段階的に近づけていくよう税率を設定した。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分) 安全対策強化事業補助金で購入する監視モニター、ペピーセンサーは

どういうものなのか。 答 園児の着衣に装着し、うつぶせ寝などの体の傾きや動きを検知するもの、あるいは布団の下にマットのように敷いて、呼吸を含む体の動きをモニターし、ランプの点滅や音で異常を伝えるもの。

ほかに、9件の議案を審査し可決されました。

総務文教委員会

3月15日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決・同意されました。また、2件の陳情はいずれも不採択となりました。

◇福生市行政改革推進委員会条例の一部を改正する条例

問 行政管理課に関する事務分掌は。 答 行政改革推進事務のほか行政評価、公共施設のマネジメント等を推進することである。

◇福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

問 短期の介護休暇ということがあるが、現行の介護休暇との違いは。 答 短期の介護休暇は特別休暇で有給、介護休暇は無給となる。

◇福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 職員の単価の考え方について伺う。 答 条例に規定している他の委員や職とのバランスを考慮して決めている。

◇福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 給料表を見ると、5級に著しい差があるが。 答 独自表から東京都の給料表に切り替えられた際、統括課長の級の給料月額を使ったが、部長級の給料月額に合わせるため。

◇福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例 本改正によりラスパイレース指数はどれくらい下がるか。 答 試算では大体1・0ポイント程度の抑制効果があると思われる。

◇福生市総合計画条例

問 総合計画進行管理要綱も改正されるか。 答 条例の規定に合わせて改正をする予定である。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第6号)

(総務文教委員会所管分) 問 体育施設のトイレに關し和式と洋式の状況は。 答 和式のみ施設が2施設あり、他の施設については、和式、洋式の併用である。

◇新扶桑会館整備工事(建築)請負契約の変更について 基礎の杭が不要となり減額となったのか。 答 直接基礎に変更となったことから約1098万円の減となった。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。



▲新扶桑会館完成イメージ図

特別委員会活動から…

まちの魅力づくり 対策特別委員会

3月16日に委員会が開催され、最初に、富士見通りの地区計画が平成30年度から31年度にかけ策定予定との報告を受け、本委員会として地区計画に提言を反映させるため、他の検討事項の調査結果報告(平成31年3月定例会)とは別に、平成30年9月定例会に調査結果報告を行うことを決定しました。その後、前回ワークショップ形式での協議で絞り込まれた4つの検討事項について、協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 和の文化について

・古民家については、説明員の配置、福生駅から酒蔵までの間の「休み処」(カフェや食事処)としての活用、茶道や華道の体験の場としての活用など。

2 洋の文化について

・酒蔵との関連では、甘酒の提供や土産品として酒粕を使った菓子の開発。

3 富士見通りについて

・洋の文化の表玄関として、国道16号を結ぶアメリカンの街並みの形成をコンセプトとして、アメリカ的な色彩の統一。

横田基地対策 特別委員会

横田基地対策 特別委員会

3月16日に委員会が開催され、横田基地に関する4件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 東京都が実施した航空機騒音調査結果について

東京都環境局では、横田基地や羽田空港、厚木基地などの周辺において、航空機騒音の調査を行い、毎年公表している。調査内容は、環境基準である57デシベルを超えているかを計測しており、福生市は基準を超えていないことを確認。

2 平成30年度防衛補助事業等の実施予定について

昨年7月に防衛省本省及び北関東防衛局に対する基地交付金増額等の要請行動において、全ての事業の採択を強く要望をしていたが、その後、担当者レベルで様々な調整を行い、平成30年度において事業採択の見込みとなった。

3 平成30年度基地関係

国予算について 基地周辺対策経費は前年度比9・1%の増となっている。内訳として、騒音防止事業2・8%の増、民生安定助成事業9・5%の増、道路改修事業15・1%の増などである。

4 横田基地に関する情報等について

12月から3月まで、横田基地に関する主な情報について報告があった。日米合同委員会合意、人員降下訓練、横田基地所属C-130Jの部品遺失、防衛施設周辺放送受信事業の見直しなどのほか、1月にはオスプレイ5機が飛来したことなども報告を受けた。このことは、全議員に情報提供し、併せて市ホームページにも掲載しており、横田基地周辺市町基地対策連絡会から、北関東防衛局長に対して騒音規制措置の遵守及び情報提供等の要請を行っている。

編集後記

平成30年第1回定例会は、多くの条例改正や一般会計予算など重要な議案が審議されました。2月の開会当初は、肌寒い陽気でしたが、閉会した時には桜の花も咲き、

春の訪れを感じながら行われたと感ずる。議会では、新年度予算審査においては新公会計制度が導入されること、PDC Aサイクルがはじめて一周する予算となり、実施計画書(予算説明書)の中には、事業ごとに改善項目や目標とすると、また重要な点やなぜその事業が行われるのかなど記され、そのためポイントをとらえた効率の良い質疑が行われたと感じております。

会期中には小・中学校の卒業式が行われましたが、教育委員会が作成した「ふっさっ子スタンプカード」をはじめ、基礎学力向上の取り組みが成果を上げており、卒業生一人一人の大きな夢が、その一つ一つの積み上げの上に成り立つのではと感じました。その原点である福生が、大人になっても良き故郷であると感じられるよう、議会としても努力していきたいと思っています。



▲横田基地上空を飛来する航空機C-5



▲都市計画道路整備に伴う用地買収が進む富士見通り